明治四年
[illegible]
集 七

特別
イ4
696
98

696
98

第三十八号

横濱毎日新聞

明治四年辛未 正月十五日

○新聞紙定價

一日銀一匁　一ヶ月同百四匁　三ヶ月同二百四十匁　六ヶ月同百廿八匁　一ヶ年同二百五十六匁

本文定之通為定之上ハ社中并ニ取次賣弘所より日々賣出申ハ其最寄近辺の毎日配り出し致し遠方取次賣弘被成度向ハ當社中へ御引合地方遠近又者日々送届方等都合御相談之上免角永續之取組懇切ニ議定可致ハ遠方之分ハ久通ニて日々相使行届申ハ其他委敷ハ中越可被成候事

横學横校

法版社敬述

○告報

伏而海内諸君子ニ申上奇事珍説の新聞と報可入條有て我治版社ニ告至ハ相當の謝識と報べし　尤西洋度ニハ無之共禁忌ヨ流ると人の善事を妨け人の隠事を親す等拙て不良之節ハ社中ニ於て決て之を不取○新奇の談と雖固事相重アし時ハ其第一番を取て其他之を不取希ハ勞と不厭高閣と演し賜らバ幸甚

謹白

○賣物

ロンドン○シープ製○水中ニて仕度すると

右ハ仕尋も水底ニ沉む様ニつくりさり自然

西人一同ニ沉水せんと要す時ハ二本の管を取有て空氣ニ流通す

○横濱鉄器製造所

十番

○引船

小蒸氣船并ニ川蒸氣船右ハ殊の外便よして神速ニ制造致い○官許蒸氣仕掛の萬力一對○諸器械備造致ニ差上可申ニ鐵いもの細工致い一ポンドニ付八セントより十二セントニ迄

○蒸氣釜管其外船道具量ミ高ニ買ニ

六十九番

クウソン

○賣品

西洋仕之の馬車四ツ車壹疋引二疋引共御好次第所持

罷在候ニ入用ニ方ハ四尋四方ハ可被下

○太平海飛脚蒸氣船社中

○碇泊船數

○布告

○現金賣捌所

○仕立物師

○取税

○両替相場

○商社相場

○告知

以度海岸通二丁目に於て同藩の書畫に依て
して孝舍を設け英文孝語書及び通譯社告白
相始むる有志の方々共に相助ず不能ハ知識と
願ふ一一て互に信義を以て勤文学一而して開化
の一端ともならん事を希ふ

日課表

毛筆にて字数十六字迄外来生徒業○十字より二
十字迄内舍生徒業○午後一字より四字迄書讀
○四字より六字まで對讀

明治四正月　　海岸二丁目　中德社中

○外國新聞

第三月十六日我正月廿六日ジヤパニメール氏新聞
○我正月二日支那上海に大火ありライ三工ムと云
歐羅巴人の大芝居も焼る是ハ彼の所にて名
高キ芝居也

○新聞紙取次所

横濱本町壱丁目　岸田　銀治

同太田町一丁目角　寫真鏡師　下岡　蓮杖

同馬車道高砂町　出嶋　松造

同縁天通三丁目　杉村屋　定七

○西洋新聞

第三月十二日我正月廿三日ヤッパニーヘラルト氏新聞巴里斯の聞傳○佛國第一世ナポレヲン皇帝常にパリス府築衛の無き事を悔ミ白耳帝より巴

[illegible]歴史家あり白耳帝より巴

利斯の繪圖面を乞受て其後[illegible]と

[illegible]けり近

[illegible]追々備を増し[illegible]堅固に成し

これと尚遠方に構内見へ透く様にて處分の

要害ならす然れとも容易に近辺へ寄るへき事ハ

成難し第一[illegible]皇帝の常に[illegible]的當し

一其[illegible]巴利斯[illegible]知れ當時[illegible]

定識等[illegible]の近寄り難き様せし

一[illegible]難かく外郭迄攻寄り獨乙軍

の[illegible]佛軍程の砲銃無く[illegible]大き軍を

損しより[illegible]凡西洋六

里程の距離[illegible]の飛如く最

一[illegible]獨乙軍之に對[illegible]不能

屡々敗走せり佛國にて[illegible]前

々海防の為め巴利斯の製鉄所にて蒸氣車

の軸を集め置き此一種の異形なる大砲を造れり

是大、庁の防御をとり一助となれり佛國にて
其外庁の地形に随て防御となせもしくは未強
き備なきに依て屢々敗北す以頃ハ佛軍一致
せざるの爲盡力せざる者も見へすしかる次第に
一軍威損ずるに依て自然奮興の所業に不拘佛國に爲て終に音時のコルリ
ツリの勇氣を引起せり。以ておもるるリッツ云ハ佛蘭
西制度の場合なる人種にて大に威勢を
於ても國に於ても歐洲第一の強兵なる佛國にて
國にて流るるリッツの氣風と言ハ然に
大和魂に言ふも同一言にして頼羅に国
威にして歐洲と并天下の勢分の佛軍
屢々其威と推き少も進歩にて志ら得開

化に趣きこれ實に音時より佛國人稱の強々
なる事可知と今巴利城と雖ども佛氏尚
有り佛軍の後に強北の勢い其二州に々兵隊を往
し再び戰多の所に高き多くの兵隊を往
○商館賣買員
○御國大荷物
○大坂出来
乾海苔　七十五両　同古　七十八両
肥後米　七十一両　同古　五十五十一分
中国米　六十五両三分　同大豆　五十五十一分
水油　[illegible]

右
正月廿二日　伏

○十六日

豊前　一汁三菜七合
作州　酒升

筑前
御藏米取　八合
四升一合

一　上総留米四合五勺
　　安南新一斗五升七合
　　巻御藏米金十四日
　　てハ此日持の分一時
　　続て中村の由此姿
　　投下落見込

○外國商人輸出入

○雜報

一　本國内商人の利則九店其外諸問屋仲買其
　　筋取締りてみなれ
　　組合法と云事
一　日本諸向商人取
　　ハ此法を追
　　外國人商法の道開ける行
　　外國人商と會し衆力合併
　　を結ひ商と會し衆力合併

法を立て萬國にわたりて根強く留ル易ク為す
所の彼所謂コンペニーと我の組合商法と唱
ふる者なり　其主意ハ小異ありて其
意ハ新人金を集メ其命令に
從ひ持高に応じて其差りを高を治心計ル
一　社中の元金備へ置て
諸件の費買ひ
　　毎分の利益を會
計して積立て置く　増益する事高會一般
の例也　此社ハ都下の富家富を集
現に此法也然れとも
一　其他の衆人
法と會　得　其　都下　大小合併の
ゆけ仏ハ況や國くまハ此法曾て行ふ者

有なり　頼くハ遠近大小ゐなく打混して都
合の場所と様に諸所まゝ高金員と建て衆外
心協の力を以て堅固の高法を取組て萬〻過
國人と接し諸事高法を取組て萬〻過
ちあ[illegible]畢竟彼に取くさは毎度利と先ゝの
とあ[illegible]ハ我が[illegible]樹橋ゐさこのかけ[illegible]
角一己の力を張るハ外骨のみ折れて夫
程の[illegible]離くさ[illegible]
家産を破れ[illegible]尚足らす[illegible]可恐可愛言を
すり我高事と[illegible]
道理と指し[illegible]謹ぶ[illegible]
人の思慮猶言ハんと[illegible]然の[illegible]あり折と以
て再陣述せんと或者人詞りけり

第卅九號　三月
○雑報

昨日[illegible]告[illegible]組合[illegible]通りハ通
高司[illegible]高金[illegible]の法[illegible]
組立つれば水人の基也然れ[illegible]昨日も[illegible]
[illegible]基也の世[illegible]特達何れも識[illegible]
ある身行[illegible]其余力と集めて組[illegible]社
るれば及ハも有らず以今外[illegible]金日社と結
せカ[illegible]法の[illegible]討らん[illegible]
も衆人の公[illegible]
人金[illegible]れ共個[illegible]出[illegible]面例あり又ハ
高内せ[illegible]老年一人の[illegible]
代奉公人使[illegible]見世も廣ろけ勝手も仕

つてハ不都合し彼是手を入れ企つれバ中々
容易に行ハ成り難し去れば迚も安食
して倹約程の時〳〵有共物を減ずる計り心細
き次第なれ如何ハせんと思ひ或ハ女子ハ他家へ
高金を以て入ずんば成ず或ハ女子ハ他家へ
嫁入らせんとすれども未だ家業ハ
て夫もなら子親ハ追〳〵取り行く年よりて見や
弟ハ無論ハ頃心婦
する人も多くなる者し
ケ様の向ハ兼て娘
の嫁入年頃と計高金〳〵備置ハ相應
年頃ハ成る迄ハ漸〳〵子
なれ共みて其ならず誠事たまさかに
格別苦労ハ不打共親の悲恋双方とつらぬき

至て良法し或者田地田畑株式ハ直段無數書へ拂
ハ是ハ先代の譲りなれハ此代金暮し方よい
元ハ入れ難し〳〵間内仕入ハよ
定混雑〳〵紛敷ハ面倒
厚ことあり

亡父先代丹精の物

積かさねを決して不相成全く分限の外と
して品〳〵義理よりみ
者也左様の仁ハ無論加入す
つれバ世の中一金銀を持あ
ありとく思ひとて人ハ思ひ
ト際ハ難し
親兄弟の義ハ
親兄弟の義ハ

特切の金も處〳〵ハ有

備如此並べ立

る人山〳〵
るれど尚亦一
丹金慶居の中着金

これらの

類ハ家々ハ有るため〳〵し

ケ様の人〳〵と合併して

積ハ善社となり名と信となるみちるを忽成就して
衆人の為め益あるべし凡此世話をする人ハ
全く[illegible]の道ある親切を土臺として堪忍を
柱として術ある事能ハ丹練し真ハ商賣の商人雪
人重き取扱ハすれバ立中ごに勤し第一流
行を好て家作を花美にし人の目を驚す
ず羽織も長きは不及年季奉公人を置てハ
斉にかき[illegible]仕込み丈夫なる高[illegible]教
首尾能く世帯も上手何方の[illegible]子となり親の
跡式繼て其[illegible]一騎立ち擅那[illegible]勤る様よ
當て[illegible]得すべし[illegible]寄合の席にて諸向引
つ[illegible]極めしとハなし
合粗田[illegible]すべし高く買て安く賣るハ商家
の秘事なりちる物ハ[illegible]れうり惜しみを

ろハ脊負込の元ニ相場ハ引くるても賣買ハすゝ
一 [illegible]ぢにて元ハ人の[illegible]
一 [illegible]實人は[illegible]
收合ハ大上知らず商人の[illegible]棚也文通を盛ん
[illegible]して諸國相場と日[illegible]知る可し 一 百
一 [illegible]の参[illegible]一時の油断最も大敵なる
そ損を恐れて賣買休むも油断の一つと
一 お[illegible]悪人[illegible]札と取らず[illegible]精進して
先祖へ訛[illegible]凡そ是[illegible]
て水縮せば眞の宝會宝社とならんとうり
一 [illegible]社の頭一[illegible]
若とも[illegible]せハす[illegible]快な
らんと昨日の老人又来て語りけり

○看官如何

一近日西橋[illegible]不思議あり[illegible]きこえうり[illegible]切々[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]相當なれ[illegible]やはるの妄[illegible]ク唱ふる[illegible]年齢不相當なれ[illegible]提灯風呂鋪包[illegible]人と連[illegible]服を着飾り[illegible]

一夜[illegible]東[illegible]橋と[illegible]ハ急ち[illegible]橋下の陰[illegible]て水[illegible]の際[illegible]藝者[illegible]すさまし[illegible]り後て以橋[illegible]

[illegible]

人間ハ萬物の霊[illegible]して如此妖怪の得て可[illegible]

倒理曾てなし[illegible]

等の人種を[illegible]

看官如何[illegible]

第四十號　二月

○長崎書状

意外の珍事出来ハ當十二月頃本真善町須賀屋の前り婦人の死骸有之本博多門際二葉屋軒下に男自殺の体未ハ息絶不申者相覺[illegible]ハ余り遠方より相離れ[illegible]

實説不相分婦ハ島原刀男し肥前の者と[illegible]本博多町横丁刀二階借致一居[illegible]

者の由婦夫[illegible]起り婦人[illegible]

と殺害致し[illegible]相[illegible]夫[illegible]て自殺[illegible]ハ及ふ[illegible]

一間[illegible]不相[illegible]

中と申[illegible]

寺餅[illegible]山有之ハ由四冬以来種々の工夫

之候〇註ニ曰青餅と云ハ長崎の方言也近
頃丸山の遊女日頃一人のなじみ客あり其好む
品を時々贈りたれば後に其事
人こまれて[illegible]へて總男の手際と青餅も
言ろめしろ今ハ方言と成りたり 其
時の青餅ハ現に丸山に[illegible]
まことも其の草も色めくより
このあと餅の名はよぞ立ける
〇西洋新聞[illegible]
正月廿八日當函港内に有る[illegible]
子三人木炭の大氣に[illegible]
其中一人の船子[illegible]
火氣に強くあてられて[illegible]

敷脚部と焼すらせし
〇出火
昨夜九字半頃本町通り異人館六十一
番焼失直に鎮火
第四十一號 二月三日
〇普魯西此度戦勝新に帝国と號を因て
昨日ハ當天長節生日ニ付當港にて碇泊の
船に祝砲を放つ國士館并ニ商館にて
舞樂と張り庭ニ入て各館よりハ許多の提灯
火燭と照らし居留地の廣野に花火
數本を出し流星[illegible]其外
ニ仕掛け物打揚け等おいり華美の兵隊

一○論語孝経[illegible]整の[illegible]遠き去[illegible]漢学の壮観を極す[illegible]

或る唐風の学者近頃[illegible]西洋学[illegible]

開化論と主張し尚又 御国学 転して

元来我識の書生故何事も呑込

と[illegible]此人毎日弟

早く終り和漢の達人とあれ

子と教ゆるは時刻と定め和漢洋の例を引

[illegible]ものは昔時人物の

[illegible]行状を詳説し専ら若非事を引立つる手段

[illegible]感心なり此人和漢洋の総論と[illegible]

その大略を申て謂らく開闢の前後と[illegible]

[illegible]混沌鴻毛の穿鑿より今日の急務は

達し文明開化と論ずる時は我朝の往古君

臣父子兄弟相慈愛する道は遠神代より

既[illegible]定まりて[illegible]是[illegible]

化の本なり[illegible]文明開化と唱へ至徳

論とする者也今感[illegible]文明[illegible]

一 愚道と[illegible]只人間の智恵[illegible]

やうの一徒[illegible]すべ[illegible]知と開化と

[illegible]もせよ其極りは天地造化の功を奪ふ程

一 [illegible]到る其事境[illegible]所天と[illegible]

事聖[illegible]聖[illegible]人論の常[illegible]

別儀あるべ[illegible]人種の[illegible]同と云同

[illegible]

神の御子神[illegible]皇神の生[illegible]同[illegible]

同[illegible]有りける国[illegible]の中[illegible]此意一つ

御祖の国より他せんとを計る国ハ福津日
の子孫の国なるやあらんと然るに彼其の岐論
を起して或ハ相入れざ己れ似ます者ま
君子もあるべし我の如き者ハ盗跖と雖も
あるべしいずれ其已よりさくらべて心狭く親疎
を撰ぶ心ありて其ハ分のり服用まさるべき
一人の烏より奴僕とハるる者こそ
能く己と盡して而て萬邦に梅ぶる時を
彼の所有と為て我が国に適て我所長と與へ
て他の長所を取て河此場なる至て国神
の淡海に入れ給へ心安と語矢ぶ仲外

第四十二號

○毎月朔日十五日○正月元日ヶ七日迄○三月三日
○五月五日○七月七日○九月九日同廿三日
御聖誕氏神祭禮高日
右之通新聞紙休日取極候事

○京東新聞第十号未詳

洋服仕様

文明日ニ進ムノ今ニ當リ都下ニ洋制服ヲ着スル人高カラントキリ故ニ此度當社中縫工社ヲ立テ下欲ニ已ニ洋ヲ師ヲ撰ミ專ラ女工ニ傳習致サヒ仕方方好ニ應シ制ヲ案ニ積ヲ案ニ且ツ急ノ用ニ便シ不時ノ需ニ備ヘントス望ノ御方ハ御注文希ヒ候也

新聞社中

御布令

當府下町々ノ内從来大日地藏ノ像ヲ置キ町中ニテ是ヲ祭祀ニ無益ニ米銭ヲ寄附シ時トシテハ多人數集會參拜シ無用ニ時日ヲ費シ甚シキハ軒役竈芽ニ割リ掛出金イタサセ剰ヘ利生靈顕ナト、唱ヘ諸人惑ヲ醸スヿ奇怪ノ至リナリ試ニ考ヘヨ此像靈顕利生ノ功德アリテ尊敬スヘキモノナラハ如此路傍ニ羅畧ニ置ヘカラス又其在ル所必ヒモ無難繁榮ナルニモアラス其無キ町ハ必ヒモ疫癘災難アルニモアラス其無キ町ニ例ヘタルアル所是ノ顧ルモノナキニ至ル如此ハ必竟佛ニ仰ル

テ其威德ヲ瀆スニ非レハ邪説人ヲ惑シ世ノ妨ケヲナスト
イフヘキ事ナレハ自今停止候条在来ノ堂祠佛像等ハ
早ク取除可申事

但堂祠其外貴却相成モノハ貴拂ヒ代料其組小学校
ヘ相納メ置可申石像等貴却不相成モノハ同所小
学校ヘ取片付置可申事

辛未十月

京都府

伊勢近報

勢州穐村ノ輩今度平民同様ノ御布告アリシ日一日
改テ一同垢離ヲ取リ従前ノ罪ヲ祓ヒ
太神宮ノ前ニ参ル幷ニ天恩ノ洪大ナルヲ拜謝シ謹テ
神明ヲ敬礼シ神前ニ於テ清御塩ノ火ヲ焼キ各其火ヲ頂
戴シテ持帰リ是迄ノ火ノ穢ヲ除キ日用ノ食事沐浴
ニモ用ル迄 神明ノ火ニ非レハ決テ用ヒヌトモナリ人皆其
能ク旧染ノ汚俗ヲ去テ新正ニ就キテヲ賞讃セリ

開化変業

新聞社中ノ者アル湯屋ニ往キニ煙火ノ辺ニ集リテ咄ス
者アリ一人ニ近来傳信機トカ云旦飛脚ノ様ナルモノ出来ル由
全体アレハ切支丹ノ法ナルヘシ銅線ヨリ用事ヲ通スルトハ甚
不審ナリト云時ニ其中ニ醫者ト見エタル人ヲ諭シテ曰傳
信機トハ器械ハ佛蘭西ノ人初テ製シタル越列機ハ篤見
トニ品アリ此薬ニ氣カアリテ銀鉄磁石カヲ起シテ引通シ
運動ハ針端ニ傳ヘテ紙ニイロハノ記号ヲ付ケ音信ヲ
通ス其早キ一瞬イ里笛間便利益張リナキ者ナリト云
ヘハ側ニ聞居タル一人頭ヲ傾ケ感心シテ曰外国人ノ智恵
ニハ中々恐入ル私ノ職業ハ町小使飛脚ナルト最早右様ノ
事ノ出来ル世トナリテハ餓死アリアホウラシキ故商賣ヲ換エ
テ斗肉店ヲ初メヤウカト其醫者云遂々寒ニ氣ニナルニ付テ
ハ必大ニ流行スヘシト進メタルカ其翌日聞ケハ其人既ニ牛
店ノ造作ニ取リカヽリトノ嗚呼一時ノ説話ヲ聞テ
忽チ轉業スルヲ開化ニ従フノ速ナリト云ツヘシ

布告

今般弾布告ヲ以テ諸願伺届書ノ用紙當社ニ於テ
官許ヲ得已ニ上梓出来ル價ハ最廉ヲ極メテ上品美

濃紙ノ三ナ六銅同半紙ノナ二銅ト定メ頃日発賣ス又界紙中二市中番号ノ所名或ハ村号等書加ヘ度キ御望アレハ其好ニ随ヒ同價ヲ以テ調進可致四方ノ諸君子来リ求ムヲ乞フ

御雇佛学教師ヲ辞ス

第十号学童進級ノ部ニ髪結職某ノ男柳田新太郎ト記セシハ今西直次郎ノ誤ナリ社中ノ蹤漏ノ罪ヲ謝ス

浪華奇報

女人某未信ノ末ニ云大坂南久宗寺町五丁目中ノ辛寄橋本清兵衛ト云家家ヘ十月四日曉ノ頃五年ノ三ト覚シキ男仏壇ヲ背ノ袴黒縞縮ノ襟ヲ掴ミ扱カシテ押入金子差出セト大喝シテ[illegible]ケレハ家内一同恐怖シテ逃レ去リ其内下男政吉ト云者当中ニ小気ノ利タル生質ナルカ裏口ヨリ忍出テ第三區取締所ヘ駆付ル云々ノ由訴ヘタリ乃チ番卒二人出張セシカ其景況尋常ナラサルヲ見テ頓策ヲ出シ柳ヒノ人数アマタ打向ヒ外ヲ取囲ミタル体ヲナシアハタヽシク大音ヲ乗入ケレハ悸然タル様子ニテ片隅ニ逃ケ寄リ自若トシテ更ニ動カス何シカスルト暫ク見合居タリケレ共未偶人ノ如クナレハ不審数トシテ近寄見レハ[illegible]カニ金ノ気絶シタリケリ信ヲ懐中セシニ金子ハ遺書ヲ[illegible]者二通アリ其一ハ北ノ新地某ナル妓ヘ送ルモノナリ其文ニ曰ク予兼テ云ヘル如ク聊媒素ニ折過ル心体ハ立ノ〳〵無キナレ共何分疲弊ノ為メニ進退モ心ニ任セス徒ニ月日ヲ送リ訪フモナラサレ共決シテ不実トハ思ハス様ニ頼ムトノコトナリ其二ハ日永々ノ浪々ニ付困窮ノ餘リ道ナラヌ賊心ヲ発シ今日強盗ヲ為ス天幸ニシテ無事ニ志ヲ達セハ他日百倍ヲ報スヘシ若シアヤマツテ自滅セハ此人ヲ以テ帰情ヲ察シ至当ノ処置ヲ仰クトノコトナリ按スルニ是金ノ報若シ当所ヘ居留スル者ナランカ何ソ苦貴族ノ人修業ノ為ニ当所ヘ来ル気ノ至リヨリ娼妓ノ奴計ニ籠絡セラレ前件ノ始末ニ至レリト見エ凡ソ世上ニ色情ヨリ志ヲ失スル者ハ多キ習ヒナカラモ耶志ノ立ツ修業セントスル身ニシテ如斯非命ニ死シ汚名ノ後ニ遺スヲ廉恥ノ知ラサルノ甚キナリ

讃州高松縣下人民旧知事ノ東京ニ引越スヲ遺憾ナリト申ス多人數城下ヲ騒擾セシメ九月十日夜ヨリ四ヶ所ニ乱妨ニ及出浦宇多津ヨリ那珂郡ニ向ヒ庄屋役揆リ塩濱撫リ等不残焼ポ又ハ打毀チ遂ニ金刀比羅ニ赴キ大政官ノ御役宿ナレハトテ新田屋森屋ヲ焼キ十六日ニ至ル迄一日二夜ノ間數ヶ村ヲ騒カシ數百戸ヲ焼キ元暴ヲ恣ニスルヲ以テ本縣ヨリ兵隊ヲ探出シ那珂郡ニテ百人ホト東ニ方ニテ百餘人召捕ヘケレハ是ニテ鎮静ニ及ヒ唯今御吟味中ナリ云ヘトモ當地歐学入舎ノ生徒讃州四條村ノ三木順平ト云モノヘ同村ヨリ二里ハカリナル北原田村ノ平五郎ト云者ヨリ教和アリシトソ第八号ニ載タル如ク頑民ノ朝意ヲ辞ヘスシテ王化ヲ乱リ旧知事ヲ留ムルヲ名目トシ暫時積憤ヲ散セントテ一身ノ刑翌ヲ招クト愚カナリトニツヘシ

會社巨擘

鐵道建築ノ金ヲ募ラン為ニ三井氏島田氏小野氏下村氏

ノ発起ニテ鐵道會社創立ノ願出セシカ既ニ官許ヲ得テ近日ヨリ其株手形ヲ賣出スヨリ其會社ノ規則ハ海外諸國ノ鐵道最モ盛大ニ行ハル、地ニテ數十年来幾度モ釐革改正ヲ加ヘシ純粋一通當ノ良法ヲ採擇シタル趣向ニテ御国ニヲサテ最善最大ナル會社ト云ヘキ由スヘテ會社トニモノハ衆思ヲ集メ群力ヲ戮セテ國家ノ為メ万民ノ為メニ公ナル益正シキ利ヲ後世ニ遺シテ文明開化ノ盛ナル国ホト其最影ノアル者也此度ノ鐵道會社ハ能ク此意ニ叶ヒタルハ是ヲ天下第一ノ會社ト稱スヘキカ且又株手形ノ儀ハ大政官ニテ御聽済ノ上ニハ何国ノ果迄モ通用シ持運ヒニモ殖ヘ加ハリ此上モナキ重寶ナルハ心アル人々ハ融通活潑ノ金銀ヲ皆ヲ箱ノ底ニ納メ庫ノ中ニ積置テ天地ノ死物トナサンヨリ疾ク此手形ヲ買取テ後年ノ利ヲ圖ルナルヘシ

鐵道會社告報

此度越前敦賀ヨリ大阪迄ノ鐵道市取開ニ付聊御国恩報謝ノ為其御費用ノ一万分一ヲ補ヒ奉ニト拙者共

発起ニテ当地停留所より大阪停所近
集ノ度會社創立ノ義ヲ建言ニ連ル錢道入費金ヲ募リ
方ノ概略ハ於會社百圓五十圓ノ株手形ヲ責出シ此株手形
買取人ノ手形面ノ金高一ヶ年ノ割渡ニ付一割ノ利足ヲ責出シ
押ヘ元此利足ハ株手形ノ貴渡ニ付一株ニ付
ヲ明治七年七月より押ヒ
ヲ明治七年後則明治二十四年正月より元金ハ何時ニテモ
手形持参ノ人ヘ可相渡候但シ一株ニ付百圓下定ノ猶世上
ノ便利ニ從ハ為一株ノ折半ニ五十圓ノ手形ヲ割渡セトノ
此株手形ハ譲渡ニ勝手次第ニ付完本質同様勝通ニテ
利足モ加ハ不ナレハ買取人ノ為方不一方真ニ必買求ム
ヘキ事ヲ云ヘ猶詳細ノ事ハ錢道會社規則書并在中
規則書近日刊行ニテ東京大阪神戸横濱長崎其他所
々ヘ差出候ニ付御熟覧ノ上思召アル方々ハ御買求ノ有
之度何卒恐心願カミテ大業成就ニ御キ度願是ニ外
ナラス四方ノ君子幸ニ諒察アリ二百會社ハ兩替町元常是御ヲ問キ近日より株手形貴
出申候

三井八郎右エ門
鳴田八郎左衛門
下村庄太郎

敬白

辛未十月

去月中當地ニ病院ノ御建営アラハ其御入費ヲ助ケタシト下
本願寺より建言せり其文ニ曰
古昔
皇化隆盛ノ日淳和茨学ノ兩院ヲ設ケ人材ヲ教育シ施
藥悲田ノ諸院ヲ置テ貧窮民ヲ養育シ教養ノ道至
テサル所ナシ中古乱相踵総テ廢絶ニ屬シ慨歎ノ至ニ不堪
候方今維新復古ノ御隆運百廢ノ興ノ御盛治誰カ
欽仰推戴ニ奉ラサラン就中當
御代下數万ノ蒐烟
數十万人口有之數十箇ノ学校ハ申ニ不及數所ノ開
象幾場ノ勧業寺院ノ教諭ハ尽ク為ス尽ク時勢ヲ察ヘサル者ナシ
時勢ヲ察ヘサル者ナシ唯此ニ見聞感奮仕候
モ追ヘ可被為設候ヘ共
恐察候右ニ付臣僧光尊
衰居感傷ノ餘聊消挨ノ報ヲ
圖リ微年ノ冗物御用ニハ相適申間敷候ヘ共故
ノ舊構一宇別紙圖面ノ
御費用ノ方八分一ニ被為充候ハヽ
建物奉願仕度候間右病院
本懐ノ至奉存候謹誠惶頓首
御諒察被成下宜御取計納奉仰候
御裏

辛未九月

京都府御聽

右神州ノ事ナリトテ御聽届ニ成タル由此ノ如ク

皇国古ハ病者窮民ヲ救ヒ玉フ院アリ近年外国ニハ又

盛ニ此病院ト云モノアリ一国ニ何十何百箇所ト云ニ至ル

而シテ其創立政府ヨリスル者ハ甚稀ニシテ多クハ有志人、

社ヲ結ヒ心ヲ協セテ取立ルナリ今ヤ人ノ衰ヒ人倫ノ大

変ニ遇フヲ為メニ林間ノ閑隠ノ心ヲ動シ家ヲ顧ミテ世人

ノ幸福ヲ祈ル奇又忠ナル奇怪ナル哉実ニ人ヲシテ感涙ニタ

ヘサラシムル事ナリトモナリ

本願寺前大僧正光尊

松田京都府大参事十月九日帰京セリ

○西京府会議第九号

貧困ニシテ人民学ヲ修ル能ハサル者ハ其ノ業ヲ廃シ

物乞人ヒリユーデル者ハ其ノ業ヲ廃シ

雇人追ヒ出シ学ヲ教ヒ教ヲ授ケ

部屋人デユリー雇人ハ学ヲ習ハシ

此等理学諸種ノ職業ハ習ヒ教ヒ

望ノ者ハ其ノ業ヲ教ヒ

右ノ通山城国中ニ広ク告諭ス

辛未十月

京都府

職ヲ勧メ業ヲ教ヒ

正ヒ学ヒ

ヒサラシムベキ

民ヲ各自ニ明ラカ

其ヲ知ラシム

一 毎年正月朔日ニ子ノ刻ニ子ノ方ニ当リテ報知ス

一 毎年正月朔日ニ子ノ刻ニ子ノ方ニ当リテ報知ス

一 毎年正月朔日ニ子ノ刻ニ子ノ方ニ当リテ報知ス

序数 ○○○○○○○○○○○○

一毎字写ハ凡退来之者ハ的ニ当リ二字写ハ凡
退来之的ニ当ル
一右之法則ニ依テ町中ハ各組小学校ニ而教
授之打[illegible]事
一作文之儀ハ出席之日ニ限リ
一諸組ハ追々小学校建営之上ハ夫々教師相[illegible]
一可読行之事
組之私人たて可学之事
一日々毎朝私塾之子弟教頭教ニ相[illegible]打
教向後差止リ之事
右之通可相心得者也
相守可申也
辛未十月
京都府

第二十七号
療病院を建営し広く病者之厄難を救ひ
人民衛生保全之為其志を遵奉せ
る一端にして今日下賤之窮者ニ至る迄
を識らずとも之を医薬の道ニ依て
と認むるを費ニ関セス英太なりと思ひ
其子弟の助け施を以て[illegible]
一人を助け其ニ療病院建営の
る向あり其志の成業ニ世界を
実験し良医ニ依て療病院創業ニ及
ひ施し有志之輩甘言を称し官民ニ
助力を以て世人の為其功
業ニ英大なるへし

右之通山城国中之[illegible]
寅十月　　京都府

別紙

一　金千両　　三寶院
　　里坊建物　　獻上
　　寺禄百四拾石九斗之内
一　建物　　獻上　實相院
一　故前大僧正住居建物　　獻上　本願寺
一　獻金　　土拾両　　種痘館醫員惣長　前田松岡

右

日本[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○関東[illegible]

川越[illegible]

韮山縣[illegible]　高五萬[illegible]石

浦和縣[illegible]　高[illegible]萬石

[illegible]　高[illegible]

岩槻領[illegible]　高[illegible]

[illegible]　高[illegible]

品川縣[illegible]　高十[illegible]萬石

金沢領[illegible]　高[illegible]

前接斯諾松山等ノ所

高六萬?千石余

一、丈九十四里?二千四百五十里?程

北外撫見高幾萬?千?余 増田五十?千石余 十二萬五千八百余

且八十四國十一州 北海九

七十七郡 同八十七郡 北海九

六百二十?六百五十九ケ村

高三千二百?萬〇二萬?四百七十石余

同高九十萬?十百七十石余 三府四十二縣

日六十?萬?六万〇二十石余 文旛二百五十三

戸数

華族 四百四戸

士族 六十二萬?千八百八十戸

卒 十?萬?二十八戸

人口 二千?萬?二百七十九萬?四千八百九十七人

内 男 千?百二十?萬?七十?萬?二千?百五十八人

女 千?百六十?萬?九千?人

既ニシテ永ク思ヒ昨夜逆旅ニ宿ス逆旅ノ小子妾二人アリ其一人ハ

美ナリ其一人ハ醜ナリ其醜ナルモノハ人ニ貴バレ其美ナルモノハ人

是ヲ賤シム我逆旅ノ小子ニ問フ逆旅ノ小子對テ曰其美ナル者ハ

自ラ美トシ我レ其美ナルヲ知ラズ其醜ナルモノハ自ラ醜トス我

其醜ナルヲ知ラズ對ナ我レコレヲ聞テ此説如何ト余ニ問フ余謂テ答曰

其説奇也然レ自負ト為ルモノハ必ズ賢ニアラズトスレ自ラ不肖ト

為ルモノハ賢ニシテ其説如何ナルカ則チ昔シ王莽實ニ周公ニ比シ

實ヲ周公ニ比シ自ラ周公ト思フ故ニ如彼敗亡ヲ待タズシテ亡ビ

昔是ヲ異ニ周公ハ自ラ不肖ト思ヒ一飯ニ十起髪ヲ握リ以テ賢人

者ヲ待テ道ヲ問フ故ニ如彼繁栄ヲ且又古語曰萬丈草必モ猶ヲ

除ク可カラズ況ヤ丈人ノ萬丈ナルモノニオイテヲヤ又俗諺曰我

是ナリト云ハ彼ノ王莽ノ徒ナリ 其逆旅ノ美ナルモノモ亦王莽ナリ

徒より故[illegible]人[illegible]自賢[illegible]皆王奉ノ徒ナリ誠其說
奇ナリ世ナリ 恨ハ今新開函ニ入置ト諸君ニ共說ン[illegible]
告ト為ス

志物會　動植金石書畫器物諸伎の部

一 西洋博物[illegible]天造人工の別なく奇珍異
[illegible]
一 十月廿[illegible]
一 諸家の出品[illegible]
一 毎臨の諸君[illegible]

緒書に充つる
祖芸中一山の事共には此叙にあらん
在候之山一港の上四方の諸君子勝手に評せよ
与貴後之事於那敬白

三年未
十月廿日

會主　四海堂禅一
清書　灌花堂標雪

○一此所は是山々来以来扱
出羽湯殿山之事末知らぬ当山之祖師弘法大師山之霊場
多人参詣人之行は女人禁制於善天之上浄土之随ひ
論ナラ告言之家法等之為に年々七日之間
右案内者山役人山中之案内
其外下之宿之者
出羽之今也女之先達之前札役等
早速一山之衆中
坊之外とも多く之役之事
二千之山共之前へ
向御坊より先達人
モノ先之八月中旬五案内
出札御祓之山内

ノ云ワニ叙ニハ心願ニテ弘法大師ヨリ手傳ヘ給ヘテ登山ノイハ
鷲尾ハ我主則チ継来番手ニ賜リシ處今是ヲ拝手ス
登テ行クハ坊ナカルヘシ若害アラハ勝尾ハ向テ其儀ヲ求メラル
ヘシト云處ニ於テ増信トモ成得セ右ニ歸登山セシメタル
被ル所何ノ霊木モ落テ旅テ登山霊忠ヲ得タル也リ拙也處ハ
是ヲ以テ人登山御[illegible]

一 山ノ樹木代リ出スヘシトモ此分市リ出スル松方迄ハ山林ニ有
堅ニ有掛置右樹木壹掛[illegible]九十九第二千両ト
見込ノ由只今山内役所大ニ渡辭シ[illegible]
列年々集能尾家登山ニ前ヨリ十津川今峯[illegible]
今日ニ之ノ色山ニハ我出書九三百金我ニ有ル先年
此[illegible]彼ノ儀ヘ一件如ハモ三百金ニ先書ハ有ルニ候
以テ有ル所ト事ニ雑事ハ有餘我有今ハ相則ニテ候ハ

此ハ御尋ノ一代限ニテ或ハ磨上セシル此村ノ年地ナ年丁ノ山之
可[illegible]人会ニ役米漢ヨ流シ此テモ更ニ先年ヨリ海右衛門
ニ坊所ハ先生御内ニ極秘ノ事人蕭ナ徒ニナラヌ之ヲ弁田
ナシ[illegible]ノ表ナル是樹木坂ヲ代ノ兵年此 此案ノ外芸
物モ極有出年山撰有且モ右衛門

一 請負ニ運ビ其金ヲ只其当面代ナ十年ヨリ有役御ニ一也
一 山ノ役所ハ實ニ大借ニテ生活ニ基キ年々見込而先此事了
一 役米諸藩ニ出芸程所ハ安置ノ[illegible]総ハ不残山開掛
有自分ニ出利納リ上出来ヨリ中ナ家手先金ヲ年々ヨリ拾役
各藩ニ役先因年代ノ石拾ヲ多分ニ有之又ハ三間堂トニテ
一 藩ヨリ或ハ五百石三百石一百石ホ寄附モ又ハ出此不残
磨セラレ候ニ金二千ノ分市出分ヨリ相掛御武ハ七イサイ
一 千両役ノ所ハ上之分ニテ此金ハ是ヨリ磨上ト成ト組ミセ

光殿東叡山寛永寺ニ而位牌所御構ニ相成候ニ付石塔
ここ寺ニ建候故右石塔ノ御堂ハ此ニ而相成不申候
寺號ヲ中山ニ位牌及ヒ石塔ノ御堂ニ而廃止[illegible]右
石塔モ位牌ト共ニ[illegible]中山ニ[illegible]谷中ニ[illegible]
一堪[illegible]西ノ御丸[illegible]建立[illegible]東叡山[illegible]
此為右石塔ハ[illegible]雑ニ[illegible]中山ニ而右石塔成
[illegible]御[illegible]鉄砲[illegible]
中寺[illegible]借[illegible]石塔[illegible]
山崩[illegible]先ツ[illegible]
芳志[illegible]
右[illegible]北[illegible]
[illegible]
一 [illegible]

[illegible]有[illegible]
[illegible]新[illegible]
[illegible]
[illegible]新永[illegible]
[illegible]

○元[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

○[illegible]一新[illegible]

鎮邑ニ移シ人民鎮撫ニ生シ管下ハ出羽郡[illegible]宗郡
高石ノ農民共ニ前郡[illegible]ニ於テ[illegible]及強訴[illegible]大小
多人数出村[illegible]村[illegible]
[illegible]安[illegible]又[illegible]
説諭[illegible]懇[illegible]時[illegible]ニ其[illegible]
[illegible]逆[illegible]農民共[illegible]百十八[illegible]村
[illegible]和[illegible]村[illegible]及[illegible]
[illegible]十九[illegible]藏[illegible]押[illegible]
[illegible]村[illegible]数[illegible]
[illegible]速[illegible]上[illegible]
[illegible]
[illegible]未[illegible]

松山縣

○出羽ノ云
行幸上神祇省ニ 前隊諸兵[illegible]
[illegible]
[illegible]
大教院ニ 宣教[illegible]
[illegible]宣教[illegible]
神祇省[illegible]人官教[illegible]
宣教[illegible]小博士[illegible]
[illegible]
[illegible]権少博士[illegible]
神祇官[illegible]
神祇小祐[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

散髪ニ改ル花園化域ニ基ク文今ノ得益ナラン是則
其十歩之新制ニ出ル其是也

○去月生日ノ就
大学寮常管内務大出社ニ於テ何日ニ祭典
被行　勅使　知府事　弾弼　係ノ官員各
課ヲ以テ参向有リ

○来何日　山右倉敷外国出船ニ於テ海産
相成候ハヽ　巨細ニ長崎ニ送致　御用掛
相成ル

○都下ニ於ル新年化ノ進ニ誰モ故郷ニ知リ
西洋各国ノ大祭ヲ尊ブ傳習致　候部中愛人公花
衆庶一同又年来ノ西洋行教ヲ　隨ヒ最早ニ元年
敬ノ数数ヲ以テ　数計ノ余慨ヲ待ス

右

○元般ノ来歐ノ人今期建管ニ於テ
所動ニ　度ニ　如ク　教
事ニ　ノ　ノ
事ニ　ノ　ノ
○去ル十月　ノ
方ニ　ノ　ノ
右

○是ニ於テ市中ノ　
此今般ノ　
弾弼ニ　市京殿ノ
弾弼ニ　相伴ヒ　
去ル　ノ　
隨ヒ　ノ
ニ　ノ
時ハ　ノ

○未十月　十千賀ノ通世建白

賀茂ノ神饌ハ元神祇官ノ所行ニ候ヘ共其品目
毎朝ノ神饌ハ元ヘ内膳ノ調進ス
御供米ハ元ヘ御内蔵寮ノ調進ス
自然ハ川端ノ調進ス
皇室長長御祭ハ元ヘ神祇官ノ調進
同品重複等有之候得ハ
調進致候ハ其ノ
不體裁ニ相見候間不来ニ
兎角牛羊ノ類ハ
獣肉ヲ被供候様仕度
則鳥獣之肉ヲモ供御
天皇自ラ山野ニ出テ猟シ給ヒ
被備候ヘキ古来之説ニ被為泥獣肉ノ猟ト

[illegible]ヲ品セ給ヒシ之ニ擬シ難子山[illegible]ノ類ヲ以テセン候ヨリ
遂ニ今日之儀ニ及ビ遂ニ仕候故ト被奉存候今[illegible]
春日社諸訪社等ニ獻類ヲ供候例モ有之候間類ヲ
復古御一新之際ニ[illegible]ヲ天下ニ御布告相成
神饌ト玉食トニ之ヲ被供候様内務司ヘ御達相成度
奉存候尤禁忌御慶ト一之
御有合ニ[illegible]間若腐敗[illegible]
之儀ニ[illegible]古[illegible]等ヲ[illegible]
大業ニ[illegible]神饌品[illegible]
右[illegible]

千智

須賀

[illegible]年十一月

○海外ノ各国ニテハ帝王ノ貴キト雖モ平常ノ私居ノ間ニ
限テハ衣服食用ノ諸品ハモ富裕ノ男人等ニ比スル物ト
大ニ異同アルヿナシ近来事ノ[illegible]
者平人ヨリハ人数多キ方ナリノ為ニ[illegible]
乃至十二テ人其内ニ必ス須臾ノ間去右ニ[illegible]
「スチュワード」ト言ヒ[illegible]
給仕ノ者ハ幾人ニ[illegible]皆
黒色服引ハ青色或ハ[illegible]赤色ヲ
各一様ノ服色ヲ用ヒ銘[illegible]名同ジ[illegible]
「リヽー」服ト云フ
隨従ノ者衣服ノ「ホリヽー」ニ家ノ徽号ヲ記ス飛脚ノ
従者ハ[illegible]服ニ其家ノ紋又ハ[illegible]ヲ染出シ用ル[illegible]
「スチュワード」ハ[illegible]隨従ノ者ノ服体同シカラズ

器皿肉　壁ニハ陶器ヲ用ヒ玻璃ヲ用ヒ七図参照

肉刀等ノ品ニ都テ金或ハ銀ヲ精巧美麗ニテ一セウ

数百金ニ値ヒモスルカラヲ用ヒ殺多寡ヲ定メ

士ニ武ハ所ハ新多年方ヲ御回扶ニ帝王ヲ親ヒ

共ニ會食ヲ九所ヲ又ハ客ヲ未ダ食ヲ遊等ノ時如

第一　格別ノ饗宴ニハ肉類ノ前ニ牡蠣ノ殼カラ

是ハ食物ノ消化カヲ増故也トソ

肉羹　二種

羹ヲ七ツ一品ヲ出ス

第二

魚類　二三種

鯛　鯉　香味美カケ汁等品ニアリ

此外ニ百菊菊酒ヲ出ス

第三

鶏肉　四五種

鶏肉　此外ニモ肉類三四種

此外ニモ百菊菊酒ヲ出ス

第四

炙肉　五六種

鴨　雉　兎　猪　鹿　鶴　鶉　鶴肉

此外ニモ酒ヲ出ス

野鳥類　四五種

鴨　鶴　鶉　鶴　鶴　鶴　鶴　鶴

後饌

餅類　三四種

水菓子類　四五種

布巾糕　一二種

パイ　一二種

乾海苔　菊菊　水菓子類　四五種

此時ニテ「セルリー」酒或ハ極上カラレット酒ヲ出ス

次ニコーヒー又ハ茶（砂糖牛乳ヲ加フ）

此時リキウール酒ヲフラキイ酒キユラソイ酒ニ出ス

後餐ニ用ユル七肉刺小刀茶小金器ヲ用ヒ敷ク

猶巧ニ極メ前餐ヨリモ華麗ナルヲ好ムノ

帝王ノ手ニ接吻スル人ハ其王族ノ

ナリ婦人ハ王族外国ノ公使自国ノ

高官貴族ノ人等ナリ食机者座ノ

若ヨリ知ラレタリ人等ナリ

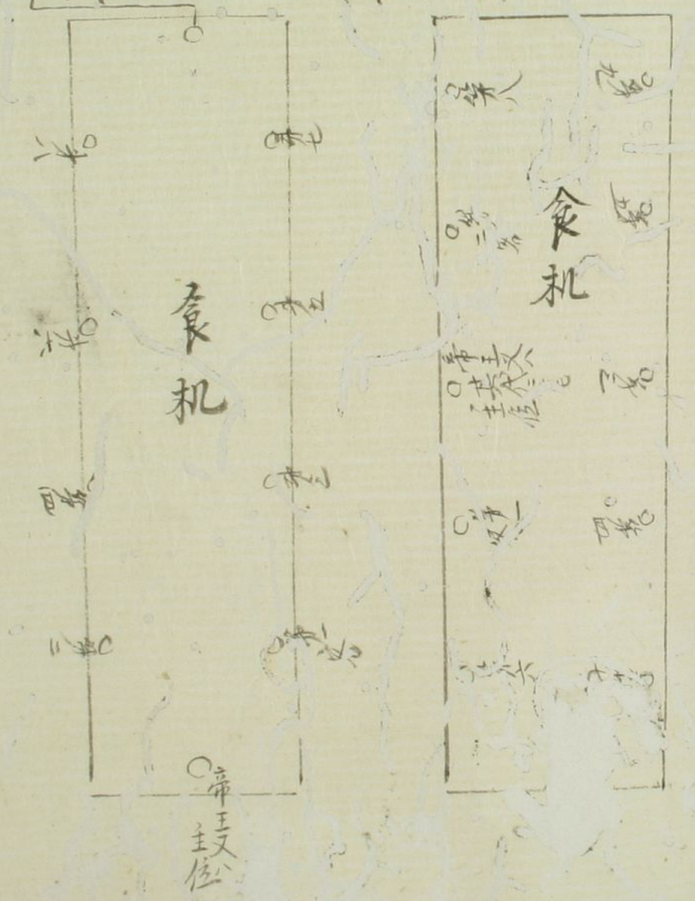
定ノ例ナリテ芋肉ハ手ニ

式トスルモノナリ

帝王ノ給仕スル時ハ

給餐ニ枚ヅ食机上ニ

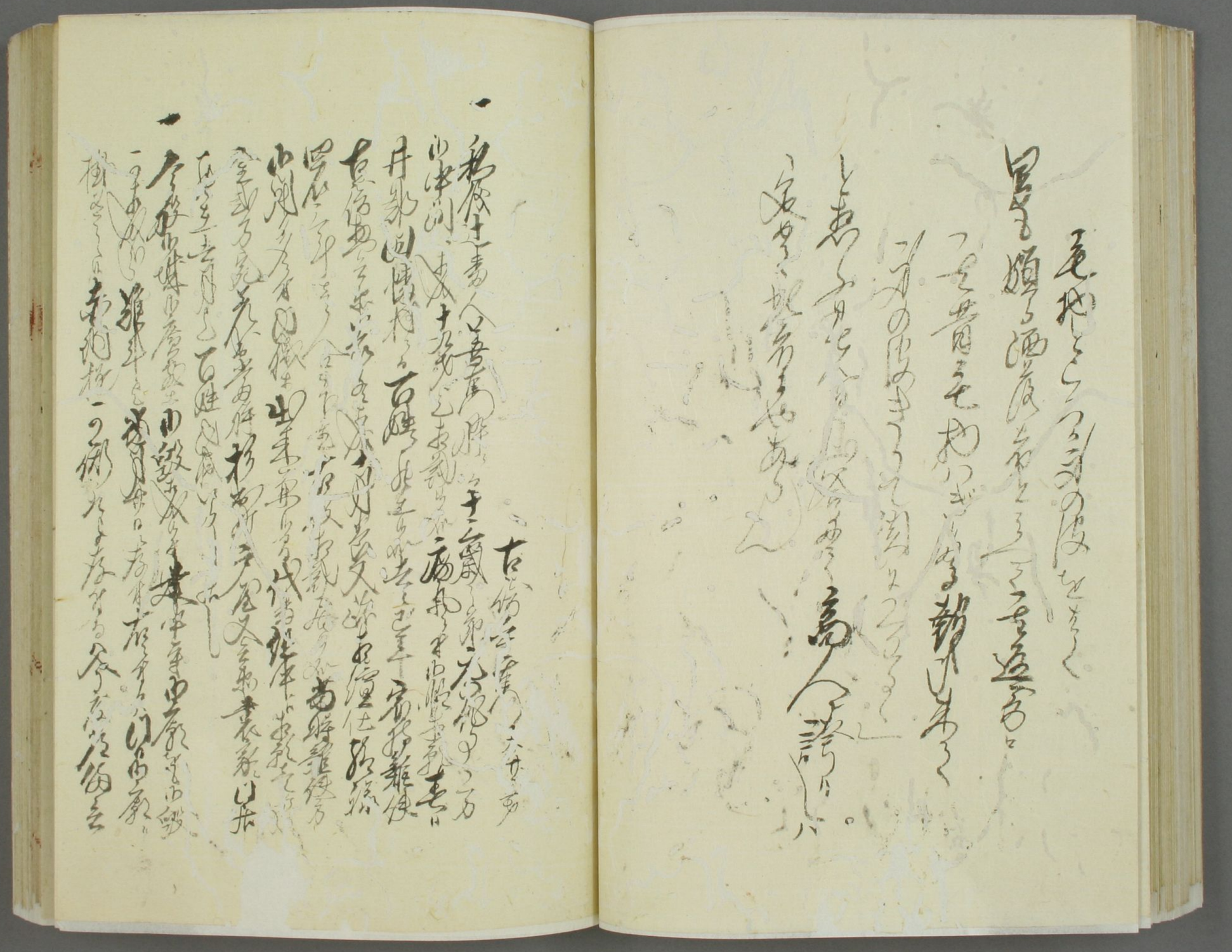
第二式



食礼著座之次第

第二式

○法四人長は剣戟の雄[illegible]古来より[illegible]人の[illegible]
[illegible]人民[illegible]草莽激動し[illegible]
[illegible]国体を変換せざるべからざる[illegible]
[illegible]一千七百三十年
[illegible]一百年間其国体の変換せざるべからざる[illegible]
[illegible]日王四共和帝国王共和帝国共和帝[illegible]
[illegible]万邦共文明開化斯の如くなるべし[illegible]
[illegible]一百年間[illegible]
[illegible]
[illegible]



[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

鳥とんるるもしかし〜四方〜八車に激浪の波を被る
雷鳴に雨風八雲花暗夜の如く細く〜心地一日さこと苦
船中別に可申事も無之くお〜に風と大海荒波川小船
なり私共一家ひ子共方方に苦の為相網メ居の用意
なりの一の金シ見ち一切不見坂に近
数成名山も名澤山を中に人家も少く見る
サンフランシスコ近英里三千里
君波中板に乗東市を中
大川と見ち一サンフランシスコの人口壹拾の廣大
の事に花五里の入江に里桐樹繁模蔦
至り所に船多数花如木茶里
氣遠に見る為と上陸し
人数二三千万許に張
上陸の所に諸方商人の家
下ホテルと云に諸方商人の家
人の出入に此宿所
廣大なる土地に一丁四方
一人一部屋に

車に乗る人力車人力車に乗り
中に家に日中人数に踏る人力車に乗
ガラス窓の用に夜に入時に夜に入時
見る馬車如山東京の人力車より多く
中〜一すると中に中土蔵に
馬車下中八道に翌廿日に馬車に乗
馬車安く一里に百文位に
蒸気車に乗り三里に三分下に
走り中に午後高地に霧多く
時に日本より帰の コンスルに
日本より帰の コンスルに
波日品車に蒸気車
清人に明波日の朝
様に此四係に一同一の事
事に直に車に買物に
物価に安く浴場に
る事に安く中に人一日三両や

石に帰る

[illegible]

六月二日 徳之

[illegible]

清水[illegible]

[illegible]

[illegible]

十二日晴ル風有リ
十三日晴ル又六霧ス尺三ヲ不分明
十八日曇ル風有リ
十九日曇ル

廿日天氣
十一日風強ク晴ル三字ヲ已曇ル
十二日曇ル今朝字合衆国船飛脚船支所ト号船ニ出
遇音信ノ通ニ十八日ニ合ケ大ル
十三日曇ル波立ツ航行遅シ夕大風起
十四日風未ダ
十五日全波微風有リ
十六日晴ル波平穏ニ度シカケル
十七日雨降ル波平ナリ字ヲ已晴ル
十八日曇ル波平風無
十九日曇ル今朝二字ヲ遠江沖サニテ沈ト著船
終船之度不分明四字半上陸グラントナテ船ニ日出ル

右垂船行度大略ニハ

一垂船蒸気カ千馬力
垂船積高四千四百五十トン
但一トンヲ十立方フートニ換算ス
一同長三間八十五フート
但一フート日本ノ一尺強
一同幅平ナフート一同船將ヨリ水夫働者迄百四十人
但一馬力三千ポンドハ一ヲ時ヲ一フート
高三万三千ポンドハ一ヲ時ヲ一フート
船將ヲ名ヲ「ジョウ」

未八月下旬傳寄

上　東京日本橋通　栄米国ボストンワールドヒストリー
封　長谷川渕度　堀田瑋之助
佐倉藩士番之事ナリ

一年中人ヲ長ヲ御ヲ玉ヲ移安陸ヲ後存ヲ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○報
○陳子

欧亡者一車ニストイイヤイヤ機関車ハ急ニ走リ
三十分時ニシテステエシヨンヨリ出ハ車ノ三停ニシテ
浦條四五條アリ休憩十分時ニ乃チ次ノ汽車ヲ待
合セタルニ人走ルヤ金ヲ一合ニ又走ルヤ十字
ハ逸人ヲ見タリ夫ヨリ原野ヲ横リサニ字ヲ立
場ニ達シ此立場ハ前ノ何人ハ何ノ食ヲ求シテガラフ
ラ場ニ報ス食物ハ酒車ノ着ト待充着前十分アリ
蒸気ノ漏ルヤ音ヲ聞ク他ノ車モ他ノ浦條ニ走リ
ナリ長敷ニ成テ中ル乃チ他ノ如ク半但飲食急歩期ニ
浦ヲ立ス一番車報告シテ出ニ走リ終リ食料
ニ不足ス急食急歩ニ代リテ言伝ヲ通ス
急食急歩ニ代リテ言伝ヲ通ス
車ノ走ル時ハ汽車ノ速ヲ以テ
林檎 枇杷 ハ 価

○もて
六月五日

ノ食料ハ
故ニ日ノ
欧亡者ハ
ノ汽車ニ
相撲ハ
ノ如ク
上ニ
あり奴
即ち
眠不
徳

五日甲子 紀ノ半井ヨリ紀ノ奴ヲ使ハシ天井ト椅ニ出シ[illegible]
ハ水ホカ[illegible] 飲水ハ水ヲ用ヒ[illegible] 五字車ニ帯ス
着シ[illegible] 故ニ一路ヲ[illegible]
告ケ[illegible] 走リ故ニ紀ノ[illegible]
山ヲ不見不残四面ニ[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]
天花ノ日京快ノ客ノ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]
人[illegible]
[illegible]
飲水ハ[illegible]
[illegible]
[illegible]

八日

[illegible]

九日

十日

十一日

十二日

[illegible]

十四日

十五日

極楽浄土ハ決定ス此世界苦悩充満
東京ヨリ九里の人井上ハ[illegible]ト云者生
金ヲスポストン小学校の生徒
十四日朝ポストンヲ出立パアケルハウスに止宿ス此
外ハ西国第二の町ナリ今日土佐家蔵屋敷の
世子并同家第二世子ヲ[illegible]ハ
語学校ニ入ル休ヲ[illegible]ハ
ナリ[illegible]故ポークルシクハウストテ余所ヲ[illegible]人ニ[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]校の始ヲ[illegible]
井上氏并[illegible]走シテ[illegible]
十五日[illegible]ヲ[illegible]
久[illegible]同宿ス清水公同家国[illegible]引[illegible]
[illegible]環一子ト紀居ハ残リ公子ハ止宿ポストン
パイラルト。ウルセストリー。七七番ニ[illegible]学校ニ由
規[illegible]ヲ学校の始ヲ[illegible]
[illegible]ヲ学校ニ[illegible]
[illegible]人も[illegible]
ミスボイントニ下者[illegible]

十六日

十七日

十八日

十九日

廿日

廿一日

廿二日

[illegible]ヲ[illegible]ト。フレセント。フレイス
[illegible]ヲ清水[illegible]
止宿シ[illegible]ヲ[illegible]
一週日[illegible]
十七日[illegible]
[illegible]氏と同宿スポストン。
パイラルト。セイレースヒルヒ[illegible]
[illegible]人[illegible]
十九日[illegible]ヲ[illegible]
廿日清水公[illegible]
[illegible]
トリーニ止宿ス二百五十四番ヤ[illegible]ハイラルト。ウシントンス
廿一日清水公[illegible]ポイントンと[illegible]
上意ニ[illegible]
文[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]ヲ[illegible]
[illegible]

一週日入両ヲ決ス

[illegible]

廿二日

[illegible]

紀居ハ

彈　直　樹

等の稱号を廢し一般の名稱編
入員を細目に其區
別論を減業の
地方實情のよる
中社の号用数年
仕法の所
の事務のまつりごと掌りより

[illegible]

中納言[illegible]

元職多非人

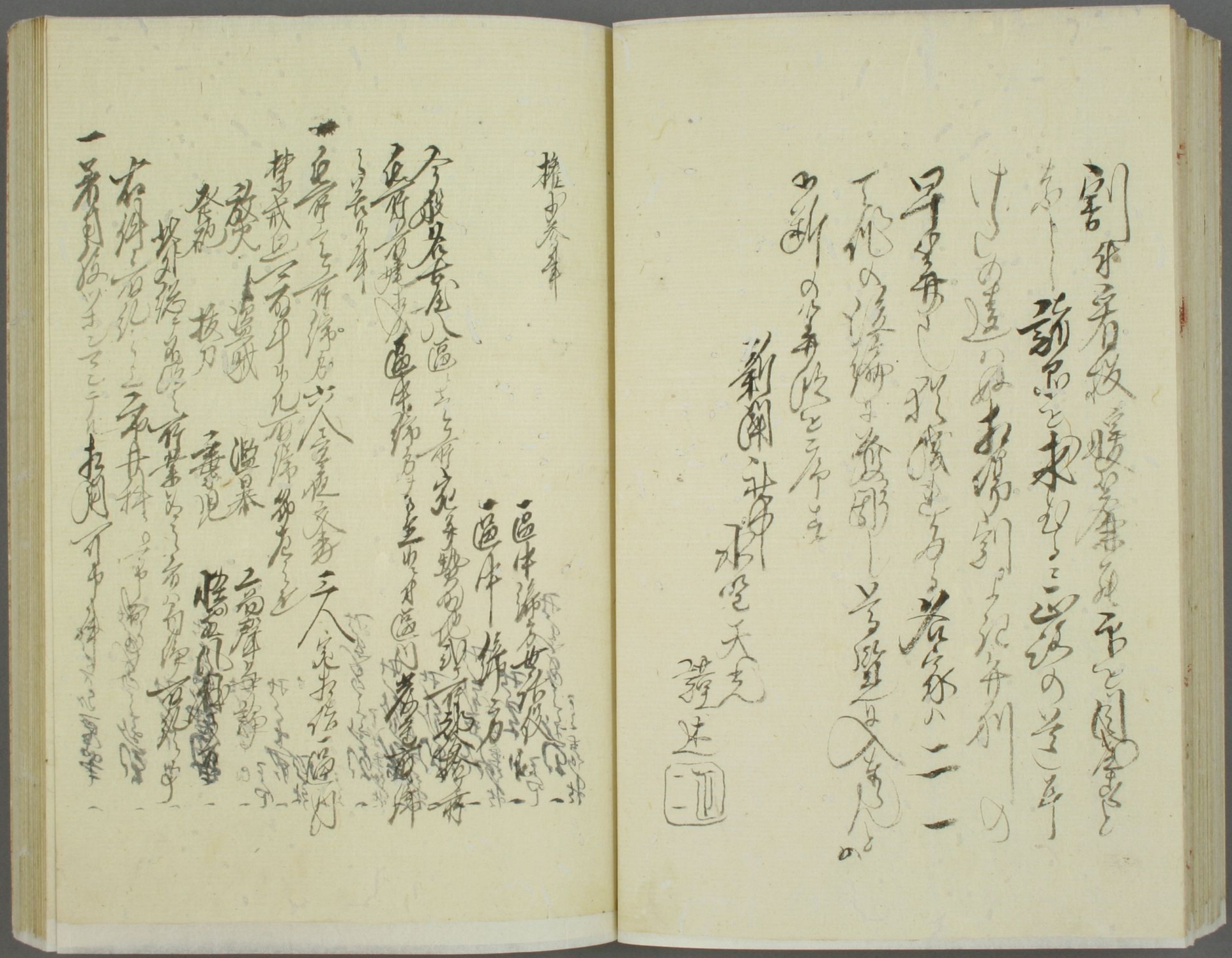
[illegible]

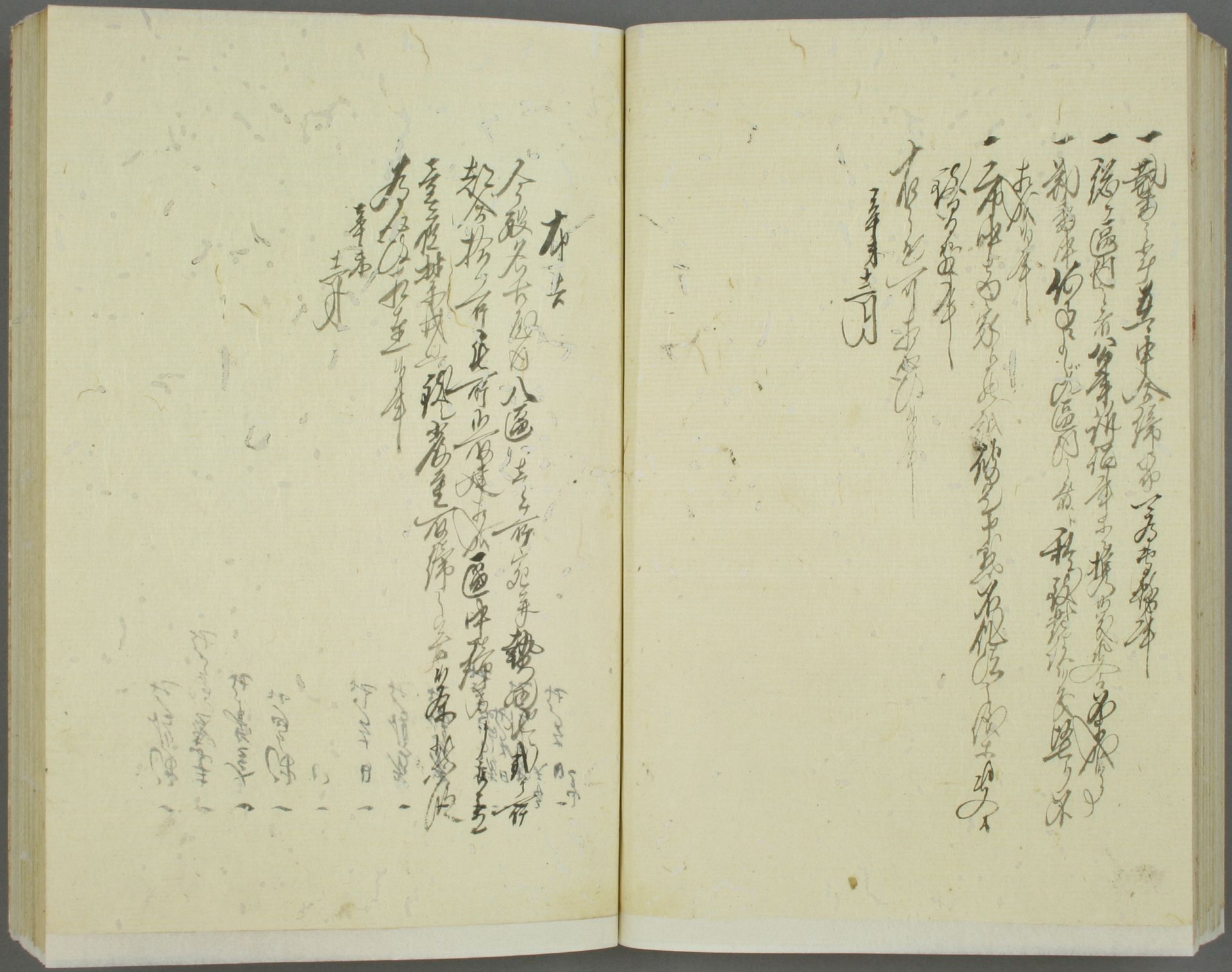
陸奥の

[illegible]

[illegible]

[illegible]





唐盡　組書　錦書　唐紙

[illegible]

第拾壱番

第拾弐番

[illegible]

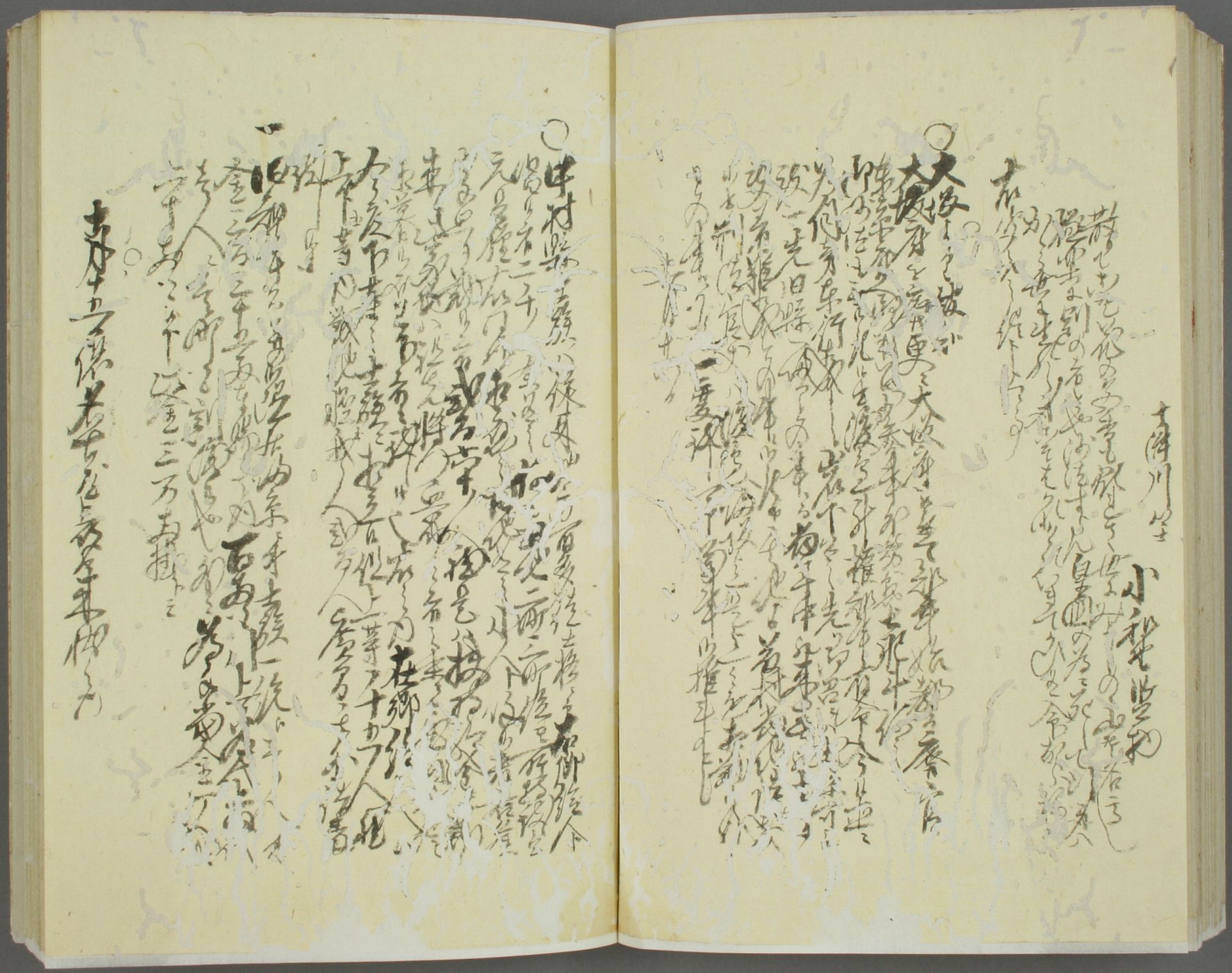
年未十月

大坂屏

[illegible]

[illegible]

[illegible]



一

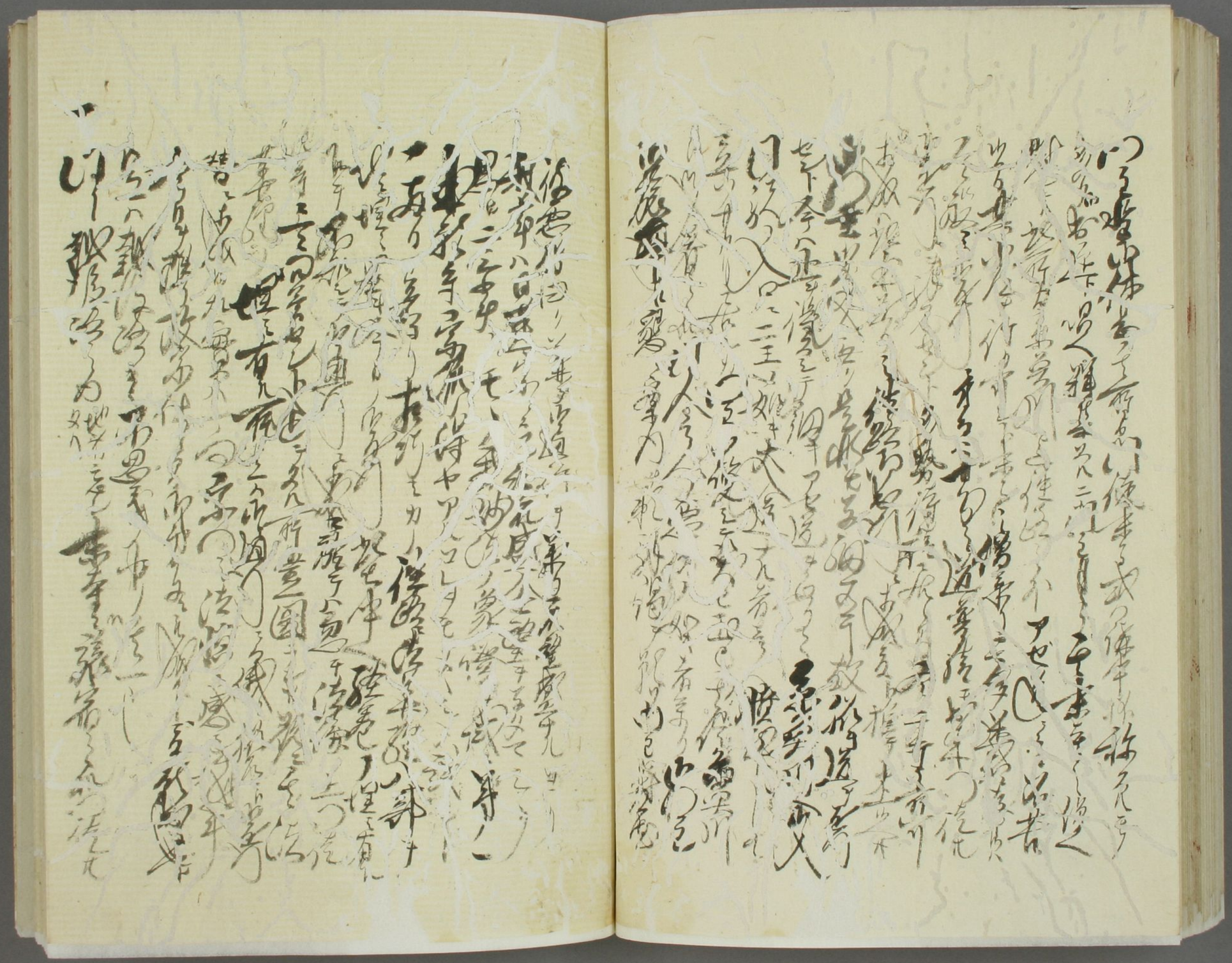
一

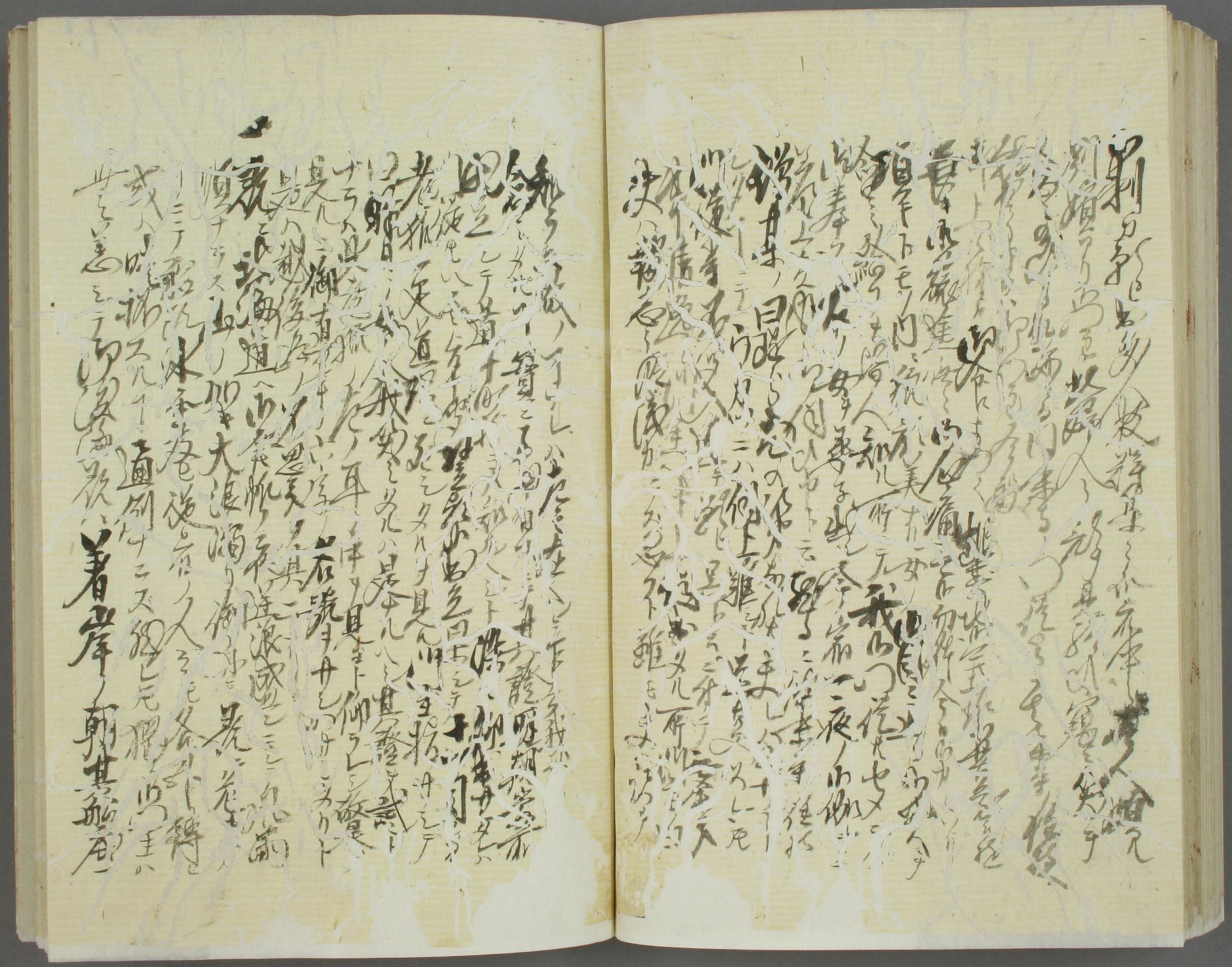
一

[illegible]

一[illegible]

一[illegible]





[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

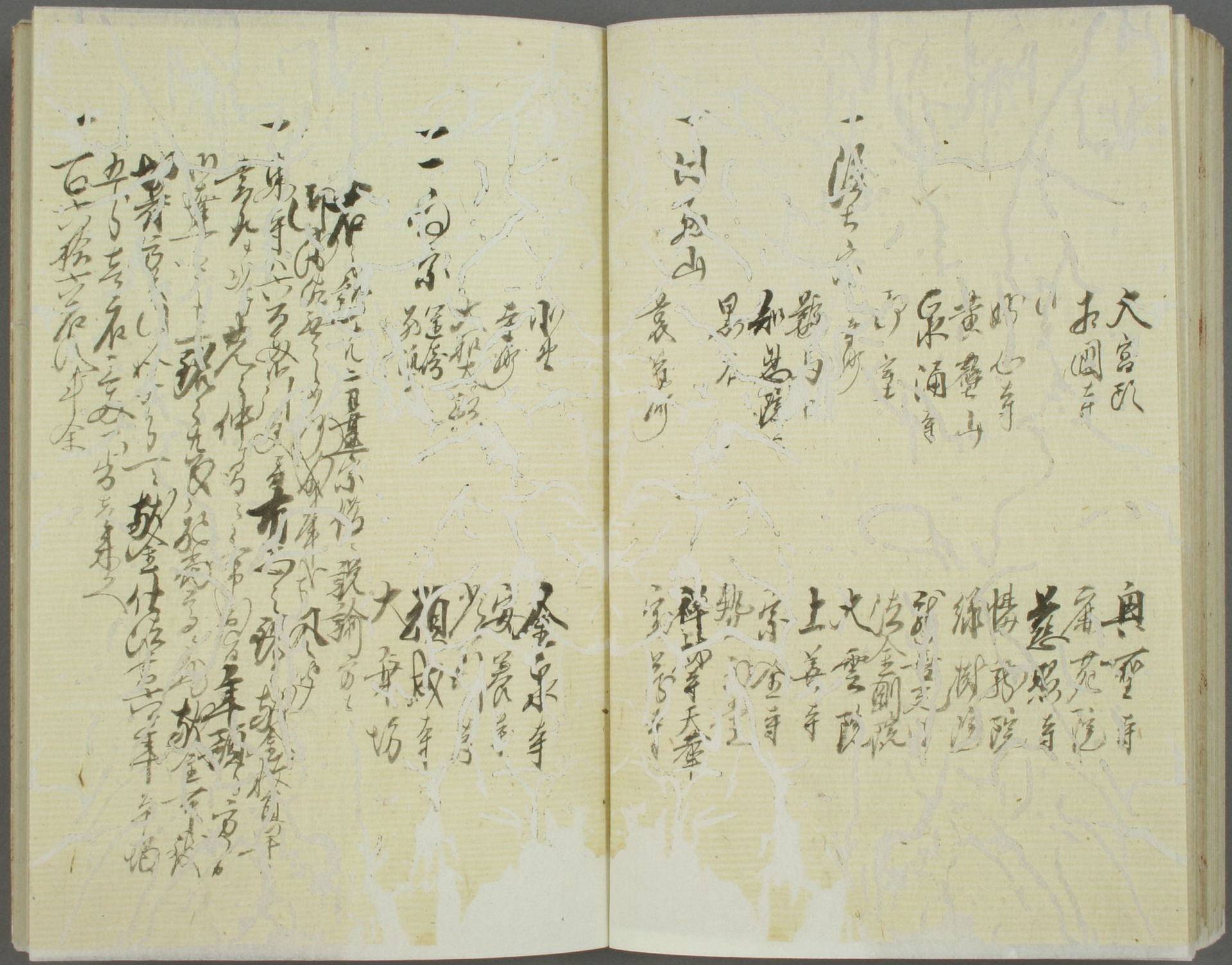
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]



[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

女子 西行

今般黒田侯御家来川勝[illegible]

[illegible]

十月十六日 横浜[illegible]

東京[illegible]

吉益正雄娘

[illegible]

[illegible]

[illegible]

丹後屏風本紀

上田殿姫

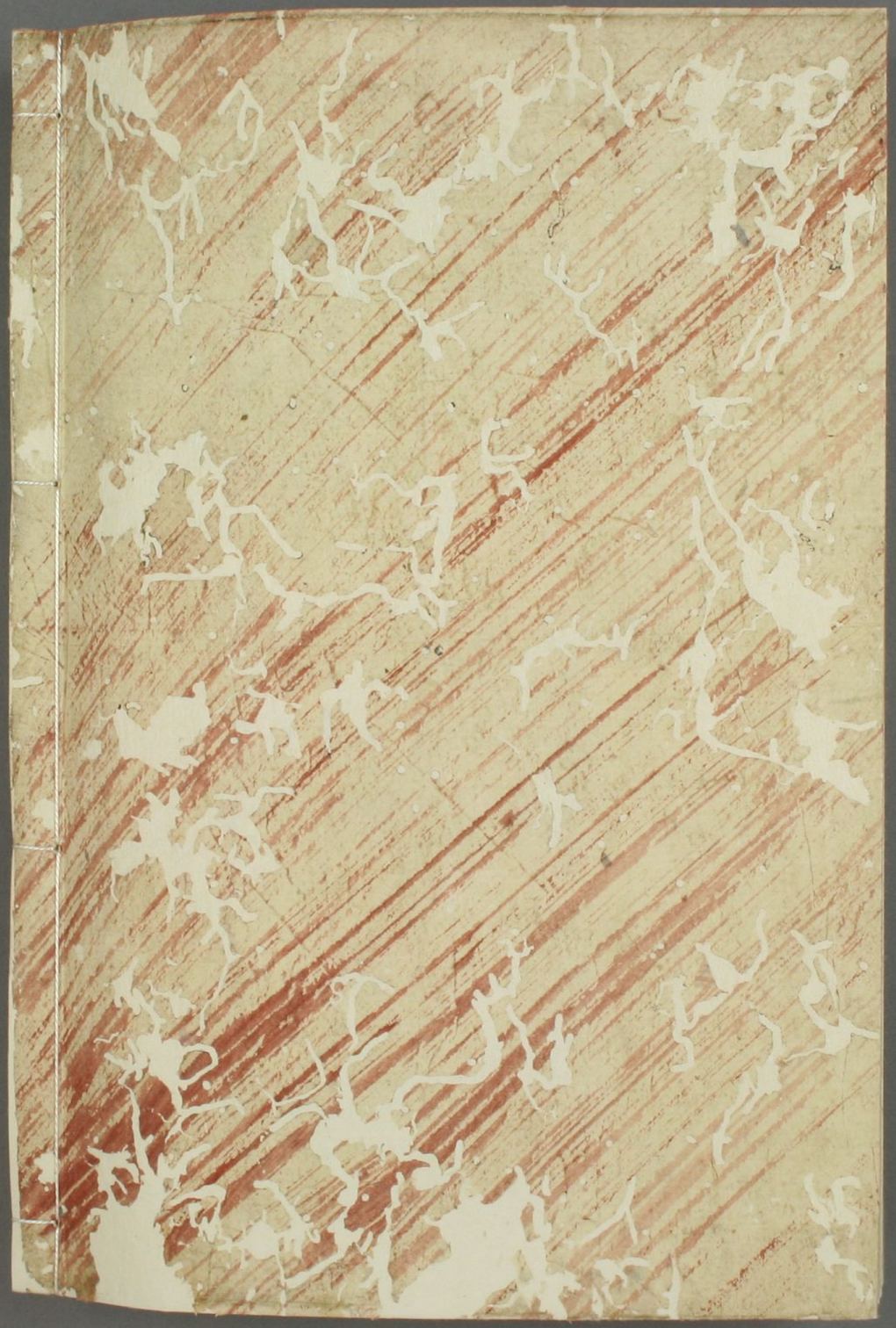
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]